

各 関 係 機 関 長 殿

岡山県病虫害防除所長

病 害 虫 発 生 予 察 情 報 に つ い て

病虫害発生予報第2号を下記のとおり発表したの送付します。

平 成 21 年 度 病 害 虫 発 生 予 報 第 2 号

平成21年 4 月 30日
岡 山 県

予報概評

| 作物名 | 病虫害名 | 発生時期 | 発生量 | 作物名 | 病虫害名 | 発生時期 | 発生量 |
|------------|----------|------|-----|-------|-------------|-------|-----|
| 水稲 | 苗立枯れ | — | 並 | モモ | ナシメシクイ | やや早 | 少 |
| | もみ枯細菌病 | — | 並 | | カメムシ類 | 早 | やや少 |
| | ヒメトビウンカ | やや早 | やや多 | ブドウ | 灰色かび病 | やや早 | 並 |
| | 縞葉枯病 | — | やや多 | | べと病 | やや早 | 並 |
| | ツマグロヨコバイ | — | 少 | | キュウリ等 | 灰色かび病 | — |
| | 萎縮病 | — | 並 | | | | |
| | イネミズウムシ | やや早 | 並 | | | | |
| 麦類 | アブラムシ類 | — | やや多 | イチゴ | うどんこ病 | — | やや少 |
| | ヤノハモグリバエ | — | やや少 | | タマネギ | べと病 | — |
| ジャガイモ | 疫病 | やや遅 | やや少 | ナス等 | ミナミキイロアザミウマ | — | やや多 |
| モモ | 灰星病 | やや遅 | やや少 | アブラナ科 | アブラムシ類 | — | 並 |
| | 黒星病 | 並 | やや少 | | 野菜 | コナガ | — |
| | せん孔細菌病 | 並 | やや少 | キク | アブラムシ類 | — | やや多 |
| | 褐さび病 | 並 | やや多 | | | | |
| | モモハモグリガ | — | 少 | | | | |
| ウメシロカイガラムシ | やや早 | 並 | | | | | |

1. 普通作物

(水 稲)

(1) 苗立枯れ

予報内容

発生量

並

予報の根拠

ア. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並と予想されており、発病を助長する条件ではない。

(2) もみ枯細菌病(苗腐敗)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

(3) ヒメトビウンカと縞葉枯病

予報内容

発生時期 やや早

発生量 ヒメトビウンカ(第1世代幼虫) やや多
縞葉枯病 やや多

予報の根拠

ア. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高いとされており、ヒメトビウンカの発生時期はやや早いと考えられる。

イ. 県予察圃場における越冬世代成幼虫の4月の発生量は145頭と平年(133頭)並であったが、うち本虫の発生源となる麦ほ場では38頭と平年(15.1頭)よりやや多かった。

ウ. 縞葉枯病は県南部において最近やや増加傾向にある。

(4) ツマグロヨコバイと萎縮病

予報内容

発生量 ツマグロヨコバイ(第1世代幼虫) 少
萎縮病 並

予報の根拠

ア. 県予察圃場における越冬世代成幼虫の4月のすくいとり虫数は37頭と平年(67.2頭)に比べ少なかった。

イ. 萎縮病は一般圃場において近年ほとんど発生が認められない。

(5) イネミズゾウムシ

予報内容

発生時期 やや早 発生量 並

予報の根拠

ア. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高いとされており、越冬後成虫の本田への飛び込み時期はやや早いと考えられる。

イ. 近年、本田での発生密度は減少～横ばい傾向にある。

(麦類)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 4月24日の巡回調査によると、発生圃場率は100%で平年(60.2%)より高く、発生量は平年よりやや多かった。

(2) ヤノハモグリバエ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 4月24日の巡回調査によると、発生圃場率は17.4%で平年(42.1%)より低く、発生量は平年より少なかった。

イ. 4月24日の季節予報によると、5月の気温は平年より高いとされており、本虫の増殖をやや助長する要因である。

(ジャガイモ)

(1) 疫病

予報内容

発生時期 やや遅 発生量 やや少

予報の根拠

ア. 現在まで発生を認めていない。

イ. ジャガイモの生育は平年よりやや遅い。

ウ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

2. 果 樹

(モ モ)

(1) 灰星病

予報内容

発生時期 やや遅 発生量 やや少

予報の根拠

ア. 県予察圃場における花腐れの初発生は4月22日で、平年(4月18日)よりやや遅い発生時期であった。

イ. 4月20日の巡回調査では、花腐れの発生圃場率は3.6%で平年(24.4%)より少なかった。

ウ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

(2) 黒星病

予報内容

発生時期 並 発生量 やや少

予報の根拠

ア. モモの生育はほぼ平年並で推移している。

イ. 4月20日の巡回調査(越冬病斑調査)では、発生量は平年よりやや少なかった。

ウ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

(3) せん孔細菌病

予報内容

発生時期 並 発生量 やや少

予報の根拠

ア. モモの生育はほぼ平年並で推移している。

イ. 前年の発生量は平年よりやや少なかったことから、伝染源の越冬量も平年よりやや少ないと考えられる。

(4) 褐さび病

予報内容

発生時期 並 発生量 やや多

予報の根拠

ア. モモの生育はほぼ平年並で推移している。

イ. 前年の発生量は平年よりやや多かったため、伝染源の越冬量は平年よりやや多いと考えられる。

(5) モモハモグリガ(第1世代成虫)

予報内容

発生量 少

予報の根拠

ア. 県予察圃場のフェロモントラップによると、4月1～5半旬までの誘殺

数は1頭で平年(10.1頭)より少なかった。

(6) ウメシロカイガラムシ

予報内容

発生時期 やや早 発生量 並

予報の根拠

ア. 越冬世代成虫の50%抱卵日は4月15日と推定され、平年(4月20日)よりやや早かった。

イ. 越冬成虫の生存率は94.0%で平年(89.1%)並であった。

(7) ナシヒメシクイ

予報内容

発生時期 やや早 発生量 少

予報の根拠

ア. 赤磐市のフェロモントラップによると、誘殺最盛日は4月9日で平年(4月13日)よりやや早く、4月1～5半旬の誘殺数は12頭で平年(59.5頭)より少なかった。

(8) カメムシ類

予報内容

発生時期 早 発生量 やや少

予報の根拠

ア. 赤磐市の予察灯では4月16日にチャバネアオカメムシ1頭の初飛来が認められ、平年(5月6日)より早かった。また、4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高いとされており、発生時期は平年より早いと予想される。

イ. 前年のスギ・ヒノキの花粉飛散数を利用した予測式から、チャバネアオカメムシの越冬世代(4～7月)の予察灯誘殺数は、赤磐市では平年より少ないと予測され、津山市でも平年より少ないと予測される。

(ブドウ)

(1) 灰色かび病

予報内容

発生時期 やや早 発生量 並

予報の根拠

ア. ブドウの生育は平年よりやや早く推移している。

イ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

(2) ベと病

予報内容

発生時期 やや早 発生量 並

予報の根拠

ア. ブドウの生育は平年よりやや早く推移している。

イ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

3. 野菜

(キュウリ、ナス、トマト、イチゴ)

(1) 灰色かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 4月23～24日の巡回調査では、全般に平年よりやや多い発生量であっ

た。

イ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は高く、降水量は平年並とされており、発病に抑制的な条件である。

(イチゴ)

(1) うどんこ病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 4月23～24日の巡回調査では、全般に平年並の発生量であった。

イ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病を助長する条件ではない。

(タマネギ)

(1) べと病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 4月23～24日の巡回調査では、全般に平年より多い発生量であった。

イ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、発病に抑制的な条件である。

(ナス、キュウリ)

(1) ミナミキイロアザミウマ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 4月23～24日の巡回調査によるとキュウリ、ナスでの発生量は平年並であった。

イ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、本虫の増殖をやや助長する要因である。

(アブラナ科野菜)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生量 並

予報の根拠

ア. 4月1～5半旬までの黄色水盤への飛来数は、赤磐市では251頭で平年(186.0頭)並、津山市では126頭で平年(193.3頭)並であった。

イ. 4月23～24日の巡回調査によると、発生量は県下全般に平年よりやや少なかった。

ウ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、本虫の増殖をやや助長する要因である。

(2) コナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

ア. 4月1～5半旬までのフェロモントラップの誘殺数は、赤磐市では12頭で平年(52.4頭)よりやや少なく、津山市でも4頭で平年(14.9頭)よりやや少なかった。

イ. 4月23～24日の巡回調査によると、発生量は平年より少なかった。

4. 花き類

(キク)

(1) アブラムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

ア. 4月1～5半旬までの黄色水盤への飛来数は、赤磐市では251頭で平年(186.0頭)並、津山市では126頭で平年(193.3頭)並であった。

イ. 4月23～24日の巡回調査によると、発生量は県下全般に平年よりやや多かった。

ウ. 4月24日の1か月予報によると、5月の気温は平年より高く、降水量は平年並とされており、本虫の増殖をやや助長する要因である。

病虫害発生予察情報テレホンサービス

岡山県病虫害防除所では、主要病虫害の発生状況や防除に関する情報を迅速にお知らせするために、テレホンサービスを実施しております。気軽にご利用ください。

電話：086-955-2224

携帯電話用アドレスの公開

予報、注意報、警報については携帯電話用の情報(簡易版)を公開しています。

アドレスは

<http://www.pref.okayama.jp/norin/nousou/kei/top.htm>



リーダー用のQRコード